

七五三もうでの歴史

大昔のわが国では、7歳頃までの子供は神様と同じ扱いを受けていたといわれ、よく神様の御託宣が5、6歳の幼童にあったという事実はこれを裏書きしています。また生まれて3、4歳になると、氏子帳（氏子名簿）に登録され、また7歳という年齢は幼児から少年への変わり目で、一般社会人への仲間入りをする年にあたり、その機会に厄払いのため氏神様へお参りを行なってきました。6月に行われる茅の輪くぐりという儀式を、7才の子供だけが行なうという地方もあるくらい、大切な行事として行なわれてきました。

このような子供の成長段階に際して、母親の里から子供に衣類を送る習慣がありますが、こうした服飾で成長過程を区分する考え方は、元々中国の元服の思想によるもので、わが国においては王朝の昔に宮中や公家の間では髪置・袴着・帯解などの儀式が行なわれていました。そういった儀礼が江戸時代に入って、ようやく一般にも広まり、

男女 三歳の髪置（カミオキ・クシオキ）——髪をのばすこと

男 五歳の袴着（ハカマギ）——袴をつけること

女 七歳の帯解（オビトキ・オビナオシ）——帯をしめること

という風習が固定化し、その際神社にお詣りして子供の無事成長をお祈りするのにならわしとなってきたのです。

七五三詣は“11月15日”というこれらの数字も、奇数を陽数として尊ぶ陰陽思想によるものといわれ、大体は近世江戸時代に入ってからの方え方ですが、大昔はそんな堅苦しいきまりはなかったようです。ただ11月の中頃は霜月の祭として、古くから生業の神さまを山へ送るお祭りがあったことから、11月15日という日が選ばれたものと考えられています。

七五三詣が、特に関東地方で盛んなのは、江戸時代、徳川将軍家のお膝元で、五代将軍綱吉公の若君が11月15日に宮参りした故事によるものといわれていますが、当春日大社ではもっと古く、今から800年余り前、平安末期の嘉応3年（1171）の3月7日、のちの関白藤原兼実公の若君が5才になって初めて氏神である奈良の春日大社にお詣りしたことが、日記『玉葉』に記されており、その精神は王朝の昔にまでさかのぼることができます。

春日大社の“七五三詣”は、この故事にあやかり、毎年この節目の年を大過なく乗り越え、健康にすくすくと育たれるよう鄭重なるご祈禱を奉仕しております。



平成21年にご参拝を頂いた皆さんです。撮影にご協力ありがとうございました。

七五三もうでの対象者（年齢表・平成22年度）

■古くより男女3歳の髪置、男5歳の袴着、女7歳の帯解など、心身発達の節目に合わせて氏神様にお参りし、我が子の健やかな成長を祈ってまいりました。本年平成22年度もそれぞれの年齢（数え年・満年齢）の方々に合わせて奉仕申し上げます。



祝い年	性別	数え年	満年齢
3歳	男児・女児	平成20年生	平成19年生
5歳	男児	平成18年生	平成17年生
7歳	女児	平成16年生	平成15年生

七五三祈禱の手順

- 春日大社では、10月1日より11月末日までの間、七五三詣期間となります。（※この期間を外れますと、千歳飴・記念品の授与が出来ないことがありますのでご了承ください。）
- 受付は毎日、午前9時から午後4時まで行なっています。



ご祈禱について(ご祈禱所の場所)

■ご祈禱所は駐車場東側すぐのところにあります。（当社HPの境内地図をご参照ください）なお、11月15日前後の土日など大勢の参拝が予想される日は、参拝所前の直会殿に特設の七五三ご祈禱所を設けますので、境内の指示板に従ってご参集ください。

ご祈禱について(受付)

- ご祈禱所玄関の受付にてご祈禱用紙に必要事項をご記入の上、お初穂料を添えてお申込みください。なお、ご祈禱初穂料はお一人5000円とさせていただきます。（熨斗袋に入れてお納めいただくとより丁寧となります。）
- ご祈禱奉仕時間は大体20分程ですが、前のご祈禱が始まった直後ですと、30分程お待ちいただくことがあります。
- ご祈禱は受付順にお受け頂きます。なお、ご祈禱は受付時期の同じ方々と一緒に受け頂きます。



ご祈禱受付

ご祈禱について(ご祈禱を受ける)



七五三ご祈禱風景
(直会殿)

- ご祈禱は、原則ご家族と一緒に受けいただけますが、ご祈禱所に入りきれない等混雑する時、場合によっては付添い人の入場制限をすることがありますのでご了承ください。
- ご祈禱をお受けになる時は、神様に失礼にならない服装でお臨みください。
- ご祈禱中は私語を慎み、携帯電話は電源を切るかマナーモードにしてください。
- ご祈禱所内では撮影は禁止となっておりますのでご協力をお願いします。
- ご祈禱終了後、御本殿の正面でご参拝をいただきますが、祭典・時間の都合上お進みいただけない場合がありますのでご了承ください。

ご祈禱について(お車でお出でのとき)

- 七五三ご祈禱の方は駐車場入りロゲートにて「七五三ご祈禱」とはっきりお申し出ください。なお混雑緩和のため、一台にお乗りあわせの上ご入場願います。■10・11月の土日祝日は混雑が予想されます。春日大社駐車場におきましては七五三ご祈禱者優先としますが、場合により入場規制、場合により駐車できない事もありますのでご了承ください。
- 10・11月は観光シーズンとなり、奈良公園では交通渋滞対策として道路の交通規制が実施される可能性がありますので、お車でお出の方は規制情報をご確認のうえお出でください。



駐車場ゲート



ご祈禱所控室

その他注意事項

- ご不浄(トイレ)は駐車場の南側、そしてご祈禱所南側約30mのところにあります。受付をされる前にご利用ください。
- その他、現場には職員がおりますのでどうぞお気軽にお尋ねお声がけください。